

公益社団法人天童青年会議所 2022年度 事業計画書

将棋のまち創造委員会

委員長：三浦 真人 委員：仲野 大輔
副委員長：東谷 敬信 委員：今野 未菜
幹事：神村登波子 委員：門脇 皓嗣
委員：佐藤 元一

<事業名>

1. 第43回全国中学生選抜将棋選手権大会（第24回女子の部）の実施・県、地区予選会への協力
2. 全国中学生選抜将棋選手権大会の更なる発展を目指した運営の模索
3. 全国中学生選抜将棋選手権大会の理解を深める事業の実施
4. 将棋関連事業全般への協力
5. 持続可能な組織のための会員拡充
6. 出向者への支援並びに各種大会への積極的な参加
7. まちづくり事業への積極的な参加
8. 各種関連団体への協力
9. 積極的な情報公開とメディアを駆使した情報発信手段の模索
10. その他

<基本方針>

昨今の生活様式の変移により将棋人口は減少傾向にあります。将棋に触れ合う機会は増えており、将棋の裾野はむしろ広がっています。この状況において私たちの将棋をとおした運動が天童から全国に広まり、天童のたからである将棋の発展につながる好循環には、「将棋のまち天童」の魅力を「将棋のまちの市民」にこそより深く認識してもらう必要があります。

まずは、将棋が魅力ある資源であると市民により認知してもらうために、「青少年の健全育成」「将棋人口の拡大」「地場産業の発展」の理念のもと、権威と伝統ある全国中学生選抜将棋選手権大会を開催します。そして、本大会が更なる発展を遂げるために、市内にて大会を周知し、幅広い世代の市民に身近にかつ誇りに感じてもらい、大会開催における市民の気運を高めます。さらに、主催である私たちが誰よりも大会を深く理解するために、大会理念を掲げるにふさわしい知識、教養、礼節を身につける事業を実施します。また、市民とともに将棋をとおした運動を発展させるために、関係諸団体と連携し、将棋関連事業全般への協力を行います。

将棋が多くの人々の心を惹きつける文化として定着し、市民とともに将棋の聖地としての誇りを持った私たちが、活気に満ちた将棋のまち天童を創造します。

<事業概要>

1. 第43回全国中学生選抜将棋選手権大会（第24回女子の部）の開催

日 時：2022年8月2日（火）・3日（水）・4日（木）

場 所：ほほえみの宿 滝の湯

1-1 交流事業の企画・運営・実施

日 時：2022年8月3日（水）

場 所：ほほえみの宿 滝の湯

対象者：大会出場選手、プロ棋士（予定）

内 容：選手同士が交流できる事業（予定）

1-2 上記大会の県、地区予選への協力

第43回全国中学生選抜将棋選手権大会 天童地区予選

第43回全国中学生選抜将棋選手権大会 山形県予選

2. 全国中学生選抜将棋選手権大会の更なる発展を目指した運営の模索

2-1 運営方法の継続・実施

- ・礼を重んじる大会
- ・将棋駒の製作実演・販売及び駒製作工程のパネル展示(駒組合への協力依頼)
- ・天童市内中学生から運営面での協力をいただく

2-2 発展を目指した運営の模索

- ・実行予算の精査
- ・協賛金収集の精査
- ・協賛金収集方法の模索
- ・SNSを活用した情報の発信
- ・市内各所への大会広報物の掲示
- ・市内への大会歴史垂れ幕の展示

3. 全国中学生選抜将棋選手権大会の理解を深める事業の実施（委員会事業）

大会の歴史と伝統と格式を学ぶ事業（予定）

日 時：2022年6月（予定）

場 所：農業センター（予定）

対象者：メンバー

講 師：ほほえみの空湯舟つるや 代表取締役 山口 裕司 様

内 容：大会の歴史と伝統と礼節を身につける事業

4. 将棋関連事業全般への協力
 - ・天童市民将棋大会・大山康晴十五世名人杯争奪将棋大会
(将棋フェスティバル) 等
5. 持続可能な組織のための会員拡充
6. 出向者への支援並びに各種大会への積極的な参加
7. まちづくり事業への積極的な参加
8. 各種関連団体への協力
9. 積極的な情報公開とメディアを駆使した情報発信手段の模索
10. その他

<年間スケジュール>

別紙にて

<予 算>

別紙にて

<年間テーマ>

“今”と向き合えば、自ずと未来は拓ける

<委員長コメント>

天童青年会議所の基幹事業を担当する自覚と責任を持ち、委員会のみならず、メンバー全員が当事者意識を持てる委員会運営を行って参りますのでよろしく願いいたします。